

戸塚区連合町内会自治会連絡会5月定例会 議 題 説 明 書

戸塚区福祉保健課

議題名： 戸塚区民生委員児童委員協議会広報誌「のぼそう愛の手第38号」
及び活動チラシの発行について

【内容】

戸塚区民生委員児童委員協議会広報誌「のぼそう愛の手第38号」を発行しましたので、お知らせします。

また活動チラシでは、区役所や専門機関への「つなぎ役」としての役割についての内容になっています。

二つの広報誌について班回覧による周知をお願いいたします。

【例年あげている議題か？】

前は令和6年2月区連会でお知らせしました。

**【会議に参加している地区連長が、各地区の単会会長に何を伝えればいいのか？】
【各単会の会長に何を依頼したいのか？】(具体的に記入してください。)**

各自治会町内会に届きましたら、班回覧をお願いいたします。

【その他、注意することなど】

問合せ先

担当部署 福祉保健課

担当者名 府川・天利

TEL 866-8418 FAX 865-3963

令和6年5月17日

自治会町内会長 各位

戸塚区民生委員児童委員協議会
会長 川邊 正子

「のぼそう愛の手38号」及び「民生委員活動チラシ」の回覧について（依頼）

時下 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、私ども民生委員・児童委員の活動に御協力をいただきありがとうございます。

さて、戸塚区民生委員児童委員協議会では、民生委員の役割や活動を広く、地域の皆さまに知っていただくとともに、地域全体でゆるやかな見守りの輪を広げ、民生委員につなげていただくことを目的として、チラシを作成しました。

つきましては、誠に恐縮ですが、回覧にて御覧いただきますようよろしくお願い致します。

担当：戸塚区民生委員児童委員協議会事務局
（福祉保健課運営企画係） 府川、天利、小川、近藤
電話 045-866-8418
FAX 045-865-3963

あなたのくらしのそばに

民生委員

お困りごとを専門機関につなぐ「つなぎ役」

お困りごとに対して、適切な支援が受けられるよう、相談内容に応じて、区役所や専門機関におつなぎします。



民生委員ってどんな人？



厚生労働大臣から委嘱された地域福祉の増進を担うボランティアです。児童委員も兼ねています。訪問等を通じて、担当地域の高齢者などを見守っています。生活上の困りごとの相談に乗り、利用できる福祉サービスの情報を提供しています。

こんな時、民生委員にご相談ください。

ひとり暮らしの高齢の親が心配。
介護について悩んでいる。
子育てについて悩んでいる。
経済的に余裕がなく、生活が苦しい。

NG これは民生委員の役割ではありません

NG

民生委員への
深夜・早朝の電話や
訪問はご遠慮ください



「となりの音がうるさい」
「ごみ出しのマナーが悪い」



ご近所トラブルの仲裁はできません。

「保証人になってほしい」



住まいを借りるとき、入院するとき、お金を借りるときなどの保証人にはなれません。

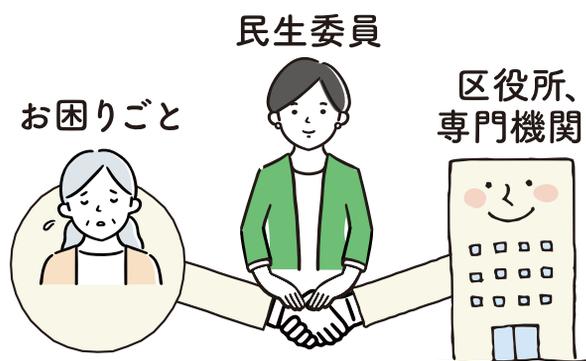
「家の鍵を預かってほしい」
「テレビのリモコンが見当たらないので探してほしい」
「外出前の着替えを手伝ってほしい」



身の回りの世話（掃除、買い物、料理、ごみ出し、草むしり、病院への付き添いなど）はできません。

<横浜市からの大切なお知らせ>

民生委員は「つなぎ役」です。さまざまな福祉サービスにつなぐことで、あなたのお困りごとに対応します。民生委員ができること、できないことについて、横浜市ではルールを定めています。



民生委員の**できること**、~~できないこと~~

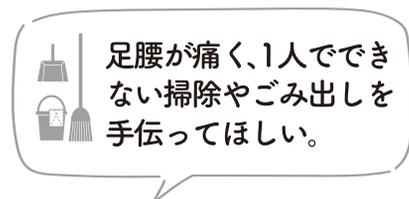


ご相談内容

できないこと



できること



足腰が痛く、1人でできない掃除やごみ出しを手伝ってほしい。



民生委員は、掃除、ごみ出しのお手伝いはできません。

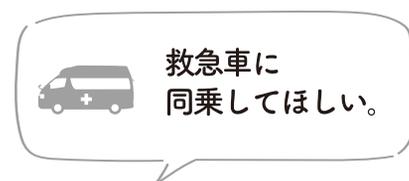


つなぎ先：地域包括支援センター

ヘルパー等の介護保険サービスをご紹介します。

つなぎ先：区役所資源化推進担当

ごみ出しが難しい方へのサポート制度があります。



救急車に同乗してほしい。



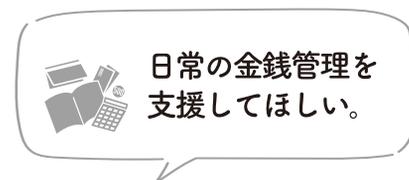
民生委員は、救急車には同乗しません。



つなぎ先：「あんしんカード」の連絡先

「あんしんカード」に記入いただいた緊急時の連絡先に連絡するなどの支援ができます。

「あんしんカード」の記入にご協力ください。



日常の金銭管理を支援してほしい。

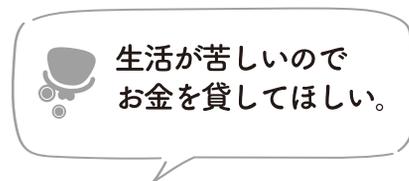


民生委員は、金銭の取り扱いはしません。



つなぎ先：区社協あんしんセンター

現金や通帳の取り扱いに不安がある場合は、ご相談ください。



生活が苦しいのでお金を貸してほしい。

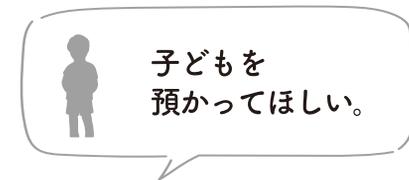


民生委員は、お金を貸せません。



つなぎ先：区役所生活支援課

くらしの安定を目指し、お困りごとの解決に向けたお手伝いをします。



子どもを預かってほしい。



民生委員は、子どもを預かりません。



つなぎ先：地域子育て支援拠点

子どもの預かりなど、子育てに関する様々な情報があります。

主任児童委員にインタビューしました！

経歴5年の主任児童委員に日頃の活動について聞きました♪
地域の子どもたちの成長を見守る活動の工夫をご紹介します！



横浜市民生委員・児童委員のシンボルマーク
「よこはまミジンコ」

Q きっかけ

A 子どもが地域の子ども会に入っていたことから、たくさんの地域の皆さんにお世話になりながら大きくなりました。子どもを地域に育ててもらった恩返しを私もできればとの思いから主任児童委員を引き受けました。

Q やりがい

A 子どもと接するのが楽しく、主任児童委員でなければできなかった繋がりや体験ができることを嬉しく思います。慣れない子育てに孤立感を感じることもあった実体験から、少しでも子育てをしている方の支援をしたいと思い活動に励んでいます。実際に親御さんからお礼を言われると、とてもやりがいを感じます。

Q 両立の工夫

A 地区に主任児童委員が2人いるため、会議に出席できない場合は相方に頼むなど協力しながら活動しています。多くの主任児童委員がスキマ時間にできる範囲内で活動しています。

Q これから主任児童委員になる方へメッセージ

A 区の主任児童委員も地区の民生委員の皆さんも、優しくて良い方が多く安心して活動できます。私も地縁がなかった戸塚で、気づけば地域に知り合いが増え、居場所ができました。委員になることで新しい繋がりが増え、更に地域への愛着が湧くと思います！

Q とある1か月をご紹介します

A インタビューを受けた月は定例会議の出席や、その他の会議に3回出席しました。また主任児童委員の活動の他に、小学校への訪問や町内会のイベントにも予定が合うときには参加をしています。
※活動時間には個人差があります。



戸塚区民生委員児童委員協議会 会長 川邊 正子より

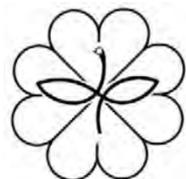
私が民生委員児童委員の仲間みなさんにいつもお願いしていることがあります。「ご自分の仕事、ご自分の家族、ご自分の健康。この3つは常に民生委員児童委員活動より優先させてください。」ということです。まずはご自分の生活を充実させ、残った時間や残った力を地域のために使って頂ければと思っています。その結果「人のお役に立てる」という充足感で、より一層充実した人生が送れるように思うのです。



編集後記

40%近くが単身世帯となった社会。家族中心の40年前の社会とは大きく変わっています。70歳まで働く時代になり、民生委員も仕事を持ちながら活動する方がますます増えて行くことでしょう。仕事との両立は大変なことかもしれませんが、その反面、気づかずにいた地域のことが見えてきたり、地域の人や物とのつながりが広がる喜びもあります。地域で、共助やボランティア活動がもっともっと当たり前になっていくといいですね。(門井 富士夫)

【編集委員】曾根 よしみ、門井 富士夫、安谷屋 孝子、渥美 房子、井上 千恵子、金子 孝
【発行責任者】川邊 正子 【事務局】戸塚区福祉保健課 ☎866-8418



民生委員・児童委員のシンボルマーク

のばそう愛の手

戸塚区民生委員児童委員協議会

第38号

R6. 3.19 発行



戸塚区の Mascot ウナシー

働きながらやっています！民生委員活動！

戸塚区では、現在 292 人の民生委員・児童委員と、34 人の主任児童委員、合計 326 人が担当する地域の中で地域福祉増進のため活動しています。

戸塚区では多くの民生委員・児童委員が仕事や育児、介護と両立しながら活動しています。そんな民生委員・主任児童委員がそれぞれどのように両立しているのかをご紹介します。

民生委員にインタビューしました！

経歴18年の民生委員に日頃の活動について聞きました♪
民生委員の活動の他に仕事や地元の自治会町内会の活動、プライベート等、両立の秘訣をみなさんにもお伝えします！

Q きっかけ

A 子どもの小学校のPTA役員を担い、PTA役員の期間が終わるころに主任児童委員に誘われたのがきっかけです。その後、主任児童委員の経験を経て民生委員になりました。

見守り活動では「ありがとう」の声に逆に励まされることが多いです！



Q 両立の工夫

A 民生委員活動の予定をあらかじめ仕事の休みの日に落とし込み、計画的に実施しています。休みの日にできる範囲で予定を組むようにし、無理しないように工夫しています。

Q これから民生委員になる方へメッセージ

A 同じ民生委員の仲間が多くいます。仲間と協力し、ひとりひとりができることをして、地域のみなさんが喜んでくれる顔を見ると、こちらもとても嬉しく感じます。

Q とある1か月をご紹介します

A インタビューを受けた月は地区の民生委員の会議や、高齢者宅への訪問など月3回活動しました。また地元の町内会では福祉部長を担い、町内会活動にも励んでいます。
※活動時間には個人差があります。

戸塚第三地区

◆戸塚第三地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

地域のつなぎ役として福祉活動に取り組む

戸塚第三地区民生委員児童委員協議会 会長 安谷屋 孝子

戸塚第三地区民生委員児童委員協議会は、民生委員児童委員 26 名、主任児童委員 2 名の合計 28 名で、15 自治会・町内会の比較的広い範囲で活動しています。

400 人程の見守り対象者には毎月「お元気ですか」を配付するとともに安否確認をしています。

各地区と同様に、お年寄への給食会【木曜会】を実施していますが、今年 34 年間のボランティア活動を評価して頂き「第 43 回横浜市社会福祉大会」で感謝状をいただきました。

資金不足とコロナ禍で、数年開催出来なかった【民児協研修】を、第三地区連合の資金援助もあり 11 月に実施しました。「盲導犬の役割を知ろう」とのテーマで日本盲導犬総合センター「富士ハーネス」を訪問しました。

盲導犬に適しているか否かの判定をするため、厳しい訓練を重ね、その中から選抜された犬が盲導犬として提供されることを知りました。参考までに、盲導犬にはいけないことを記します。

- ・じっと前から見る
- ・口笛を鳴らす、声をかける
- ・食べ物を見せる、与える
- ・可愛いからと思い、撫でる、ハーネスを触る
- ・自分のペットを近づける

その他、盲導犬の役割等多くのことを学び、充実した研修会が出来ました。



民生委員・主任児童委員



社会福祉協議会から民生委員活動への感謝状

戸塚第二地区

◆戸塚第二地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

ふれあいある町を目指して

戸塚第二地区民生委員児童委員協議会 会長 永原 道雄

先日、当地域で高齢者のご夫婦が暮らすお宅のポストに、新聞や郵便物がたまっているのを見つけました。

玄関のチャイムを鳴らしても何の返答もなく電話をしても出られず、家の裏に回り電気のメーターを確認しても使用している形跡がありません。町内の皆さんと相談し、「家の中で倒れているかもしれない。区役所や地域包括支援センター、警察に連絡してドアを強制的に開けてしまうか、あるいは旅行に行っているだけなのかもしれない」等々、判断しかねていると親族の方から連絡が入り、奥様は少し前に亡くなられ、ご主人は現在入院中であることがわかりました。

民生委員活動の中で、日頃のお付き合いと、ふれあいの大切さを学んだ貴重な体験でした。



ニコニコキッズ



ねむのき

◆戸塚第一地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

戸塚第一地区

「笑顔であいさつ さわやかなまち」を目指して

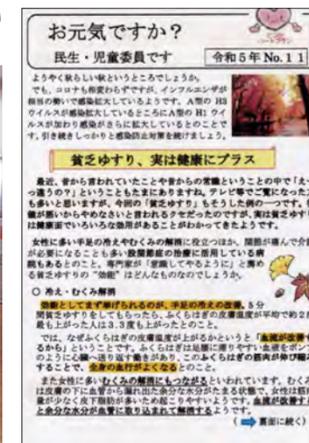
戸塚第一地区民生委員児童委員協議会 会長 門井 富士夫

タイトルの標語は、戸塚第一地区全体が目標としている地域の標語です。戸塚第一地区民生委員児童委員協議会も笑顔であいさつが地域に広がっていくよう、民生委員・児童委員 31 名で活動を行っています。

毎月 1 回、高齢者宅 800 軒を訪問する「見守り活動」では、戸塚第一地区民生委員児童委員協議会で発行する「お元気ですか」をお届けしています。11 月号の「健康ゆすり」(貧乏ゆすりではない)の記事は、好評でした。健康を中心とした生活情報を提供していきます。また、仕事を持つ民生委員も増えたことから、サロン・子育て支援・配食等、地域の居場所・交流の場づくりの活動は、民生委員有志の自主活動として、無理のない範囲で行っています。



民生委員・主任児童委員



「お元気ですか?」チラシ



とつかハートプラン マスコット「こころん」

◆戸塚区主任児童委員連絡会の活動紹介◆

PTA 関係者との意見交換会

戸塚第三地区主任児童委員 植竹 さつき

11 月の主任児童委員連絡会では、戸塚区小中学校 PTA 関係者を招き、意見交換会を行いました。

最初に、主任児童委員の役割や活動を紹介した後、戸塚中学校 PTA 会長より「放課後学び場」の取組みについて、お話をうかがいました。

その後、7 グループに分かれたグループディスカッションでは、コロナ禍が明け PTA 活動も活発になる中「活動のスリム化」「PTA 役員のなり手がいない」などの問題が浮き彫りとなりました。さらに、PTA 活動が盛んな学校、PTA 自体が消滅している学校など、地域により格差が生まれている現状を知りました。また戸塚中学校の事例を受け、中学生の放課後の居場所にも着目しました。自習ができる場の提供、非行防止策などは、地域や学校だけでは難しいこともあり、今後は行政も一丸となった手厚い支援が必要であると感じました。

今後も、地域の子もたちの健やかな成長のために、PTA の皆様とも協力して活動をしていきたいです。



PTA 連絡会との交流会